

講習の名称	家庭科のカリキュラム・授業づくりA		受講定員	20人																																	
開設日	平成29年8月9日(水)		講習時間数	6時間																																	
主な受講対象者	中学校・高等学校(家庭)教諭	会場	人間社会第2講義棟 309講義室(3階)																																		
講習の概要	家庭科のカリキュラムや授業を構想するさいの視点・観点について、講義・演習・討論を行う。授業実践例や教材・教具、資料等を分析したり、授業を構想したりしながら進めていく。問題解決型の学習、思考力や市民性の育成、消費者教育の動向、食育との関係、地域に根ざした教材化など、できるだけ今日的課題を取り上げる。																																				
講習責任者	人間社会研究域学校教育系 教授 綿引 伴子																																				
講習計画・内容																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">時間</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8:30- 9:00</td> <td>30</td> <td>受付</td> </tr> <tr> <td>9:00-10:30</td> <td>90</td> <td>演習</td> </tr> <tr> <td>10:30-10:40</td> <td>10</td> <td>休憩</td> </tr> <tr> <td>10:40-12:10</td> <td>90</td> <td>講義</td> </tr> <tr> <td>12:10-13:10</td> <td>60</td> <td>休憩(昼食)</td> </tr> <tr> <td>13:10-14:30</td> <td>80</td> <td>講義・演習</td> </tr> <tr> <td>14:30-14:40</td> <td>10</td> <td>休憩</td> </tr> <tr> <td>14:40-15:50</td> <td>70</td> <td>演習</td> </tr> <tr> <td>15:50-16:20</td> <td>30</td> <td>筆記試験</td> </tr> <tr> <td>16:20-16:30</td> <td>10</td> <td>事後アンケート</td> </tr> </tbody> </table>					時間		内容	8:30- 9:00	30	受付	9:00-10:30	90	演習	10:30-10:40	10	休憩	10:40-12:10	90	講義	12:10-13:10	60	休憩(昼食)	13:10-14:30	80	講義・演習	14:30-14:40	10	休憩	14:40-15:50	70	演習	15:50-16:20	30	筆記試験	16:20-16:30	10	事後アンケート
時間		内容																																			
8:30- 9:00	30	受付																																			
9:00-10:30	90	演習																																			
10:30-10:40	10	休憩																																			
10:40-12:10	90	講義																																			
12:10-13:10	60	休憩(昼食)																																			
13:10-14:30	80	講義・演習																																			
14:30-14:40	10	休憩																																			
14:40-15:50	70	演習																																			
15:50-16:20	30	筆記試験																																			
16:20-16:30	10	事後アンケート																																			
成績評価の方法	筆記試験																																				
受講上の注意	「家庭科のカリキュラム・授業づくり A」の講習をふまえて、「家庭科のカリキュラム・授業づくり B」を演習中心に行うので、A, B ともに受講することが望ましい。																																				